

我孫子北近隣センターだより

発行：我孫子北まちづくり協議会

つと 集うことから はじまるまちづくり！！ 夏を近隣センターで楽しもう！

我孫子北まちづくり協議会主催イベント

◆映画鑑賞会 懐かしの名画「OK 牧場の決闘」

＊カラー・日本語吹替え版（一部字幕）

西部開拓史に残る伝説の最後の決闘！

命をかけた二人の友情が熱い！

主演：バート・ランカスター／カーク・ダグラス

日時：①6月17日（金）13:30～15:35

先着 120名 並木本館 多目的ホール

②6月23日（木）13:30～15:35

先着 50名 つくし野館

＊映画鑑賞会は無料・申込み不要

◆9月映画鑑賞会の予告 懐かしの名画 「麦秋」

主演：原節子（モノクロ）

日時：①9月16日（金）13:30～

先着 120名 並木本館 多目的ホール

②9月22日（木）13:30～

先着 50名 つくし野館

＊映画鑑賞会は無料・申込み不要



夏のフェスティバル



★並木本館 多目的ホール

＊地域のサークル活動発表会

日時：8月7日（日）10:00～16:00

内容：ダンス・太鼓・合唱・詩吟・大正琴など

＊講演会「高齢社会を元気に生きるその原則」

・少し無理をすることで体力増進、健康づくりを促進する秘訣

講師：生山匡さん

（山野美容芸術短期大学名誉教授）

日時：9月4日（日）13:00～15:00

定員：先着 120名



★つくし野館

＊夏休み子ども工作会

「ゴム動力飛行機をつかって飛ばそう！」

日時：8月22日（月）10:00～12:00

募集人数：20名（小学4年生以上）

材料費：300円

申込受付：つくし野館 7月15日（金）10:00～



問合せ：7157-4517（並木本館）

7157-4085（つくし野館）

◆我孫子北まちづくり協議会定期総会終わる

4月29日（祝）多目的ホールで総会が行われました。

各分会の事業報告と事業決算報告、28年度の事業活動計画案、新役員案が承認され、市が推進する「地域会議」の検討委員会を、我孫子北まちづくり協議会の中で立ち上げ、検討していくことになりました。

一般委員からは屋上やホールの利用の仕方について意見が出され活発な会となりました。

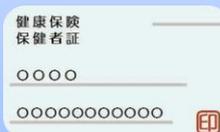


懇親会にて青木副市長（右）・藤木会長

◆近隣センター施設予約方法変更のお知らせ

近隣センターの施設予約が、平成28年9月1日（木）以降の使用分から「ちば施設予約」を利用したインターネット予約に変更になりました。「使用者登録」をされていないとインターネット予約がご利用できませんので、必ず事前に「使用者登録」手続きを近隣センターで行ってください。なお、登録の際は、本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）をご持参ください。

詳細は、当近隣センターにお問い合わせください。



高齢化地域のごみ当番 ～課題と工夫～



高齢化が進む地区ではかねてから資源ごみ回収用具の管理当番のことで自治会内での協議が繰り返されています。

本来ならば、高齢者や乳児を抱える世帯の当番を配慮する等、近隣で助け合っていくという形が望ましいとは思いますが、住民の高齢化が進む中、今後の対応に不安感がつのる自治会も増えてきました。

何か良い方法はないかという声をうけ、今回は資源ごみ回収用具の管理方法の選択とごみ当番等について取り上げます。

資源ごみ回収の歴史と回収用具の管理方法

我孫子市は昭和 45 年の市政施行以後、急激な人口増加によるごみの大量化に伴い、ごみの減量と資源化を図るために、昭和 56 年 1 月から我孫子式集団資源回収事業を開始しました。

ごみの分別回収については市民と有識者で構成された審議会が協議を重ね、自治会等の役割分担として集積所の設置と管理及び適正な分別、資源ごみの回収用具の管理を決め、行政は資源回収用具の貸与と奨励金の交付を行うことになりました。

平成 9 年度からは、容器包装リサイクル法により、市による回収方式に変更しました。それ以後、住民から高齢化で資源回収当番が困難になっているとの意見が出され、平成 17 年度から住民の意向により、資源回収用具の管理を以下の 3 つの方法から選べるようにし、市からの意向調査が毎年度実施されています。

- ① 従来通り自分達で回収用具の管理を行う
- ② 業者に資源回収用具の管理を委託する
- ③ 市に資源回収用具の管理を委託する



業者が管理するマンションの集積所



ガラス？猫？ごみが散乱する集積所



特殊加工をしたガラス被害対策の黄色ネットとネット回収箱



集積所に設置している、資源ごみ回収用具入れ



自治会で配布した資源ごみ回収用具用カート 移動と保管に便利です

各自治会の課題と工夫

資源ごみ回収用具の管理について

- ① 回収用具の運搬が重くて大変
- ② 朝早くから回収用具を設置しなくてはならない事が心の負担
- ③ 当番で回ってくる回収用具を保管する場所がない

以上の課題に対し、各自治会では以下のような工夫をしています。

- * 資源ごみ回収用具の持ち運びを楽にするためカートの利用
- * 回収用具の各戸保管をやめ、回収用具箱を集積所の付近に設置する。
- * 集積所を増やして、遠くにごみ出しに行かなくてもよいようにする
- * 集積所を毎回移動し当番の家の前を集積所にする
- * 資源ごみ回収の方法は利用者で話し合い改善策を実施する

年に 1～3 回まわってくる資源ごみ当番、多くの地区で高齢の家庭の当番は免除をしているようです。自治会内一律のルールではなく、集積所のグループの実情に合わせて工夫をしているところもあるようです。



我孫子市ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援

ふれあい収集事業

我孫子市では、ごみ等をごみ集積所まで出す事が困難なひとり暮らしの高齢者や障害者に声かけを行いながらごみ等を個別収集することにより、在宅での生活を維持できるよう支援しています。

対象者：

- ・介護保険法で要支援・要介護と認定されたおおむね 65 歳以上のひとり暮らしの方又は 65 歳以上のみの世帯
- ・ひとり暮らしの障害者又は障害者のみの世帯
- ・その他市長が必要と認めたとき

申し込み方法：

- ・本人の自筆又は家族、高齢者支援課・障害福祉支援課担当職員等が代筆して申し込みます
- ・面談により生活状況を確認し支援の必要性を判断し決定します

※申し込み・問い合わせ

我孫子市クリーンセンター 7187-0015

我孫子市中峠 2264

ごみ捨てにマナーと責任感で清潔なまちに！

ごみ出しについての住民アンケート（総会時に実施）では

- ① 指定日以外、指定時間以外にごみを出す
- ② 他のエリアから車でごみを運んで捨てる
- ③ 中身の入った瓶や缶詰等をそのまま捨てる
- ④ 分別をしないでごみを置いていく
- ⑤ 未回収のごみを、捨てた人が引き取らず放置される等の悩みの声が多く聞かれました。こうした事が、

ガラスや猫の被害をまねき、地域の環境を悪くする原因になります。散らかったごみを掃除し分別をする方の負担も、高齢化により限界があるようです。またごみ当番を理由もなく受けない家庭もあり、近隣の信頼関係を築く事の妨げになっているようです。

ごみが出ない家庭はないでしょう。出すからには各自の自覚と責任が伴います。ごみ回収を有料化して戸別回収をする自治体も増えているようですが料金負担の問題があります。ごみに関する様々な問題を、解決するには近隣の助け合いや自治会内での話し合い等知恵の出し合いが必要ですね。

資源ごみ回収用具の

管理方法の違い

* 奨励金（5円/1kg+1世帯当たり10円）

我孫子市の資源化率 25.3%（約 1 万 t /年間）

管理方法	奨励金	自分達でやること（ごみの分別以外）	やってもらえること	備考
① 従来通り	あり	朝6時までに回収用具を集積場に運び用具を並べ 夕方回収 集積所の清掃。回収用具の保管と補充。 風やガラス等によるごみ飛散対策の対策	回収用具を集積場に運搬 回収。集積所の清掃。回収 用具の保管と補充 等	奨励金が多額で集積所数が多く高齢化率が低い自治会に多い。 市に委託したが奨励金のために従来通りに戻した自治会がある。 ごみ回収が地域のコミュニケーションの場でもある
② 業者委託	あり			業者への支払い金額は、業者のサービス内容により奨励金を上 回る時がある
③ 市に委託	なし	回収用具を集積所に並べる。集積所の清掃、維持 管理。回収不能品の処理。風やガラス等によるご み飛散対策の対策	朝6時までに回収用具を 集積場に運び、夕方に回収 する。	平成 17 年度は 38 団体、27 年度は 91 団体が委託。

我孫子市：平成 26 年度は年間約 4.1 万 t（311 kg/1 人）のごみを回収し経費は 1 世帯当たり 27,635 円。資源ごみ（約 1 万 t）は 10 種類 16 分別で回収した。

資料提供：我孫子市クリーンセンター

◆子育てサロン「わ」(未就園児のつどい)
 ＊仲間の 輪・和・笑い の中でゆったり過ごしましょう
 日 時：6月21日(火)：お絵かき(雨雨ふれふれ)
 7月19日(火)：保健師のおはなし
 8月16日(火)：小麦粉粘土で遊ぼう
 各10:00～11:30
 内 容：手遊び・おもちゃ遊び・月替わり企画等
 場 所：我孫子北近隣センター並木本館 多目的ホール
 対象者：未就園児とその保護者 ＊無料・予約不要
 主 催：我孫子北地区社会福祉協議会
 共 催：我孫子北まちづくり協議会
 問合せ：7165-3434(我孫子北地区社会福祉協議会)

◆並木小「ふれあいサロン」のお誘い(高齢者のつどい)
 日 時：①6月24日(金)：10:00～11:30 七夕飾り
 (並木小1年生とともに)
 ②7月8日(金)：10:00～11:30
 健康について
 ③9月23日(金)：10:00～11:30
 騙されないために
 場 所：①並木小学校体育館
 ②・③我孫子北近隣センター並木本館 多目的ホール
 参加費：①・②・③各100円
 主 催：並木小「ふれあいサロン」
 問合せ：7182-2772(福田禎子)

◆我孫子北地区の夏祭り

祭 7月16日(土) 我孫子自治会祭礼・並木親子夏祭り
 学園通り町内会お祭り

祭 7月17日(日) 八坂神社祭礼

祭 7月30日(土)・31日(日) つくし野夏祭り

＊ ＊ まちづくりネットコーナー Vol. 23 ＊ ＊

～元海軍偵察隊員 「田中三也さん(92歳)」が語り継ぐ戦争体験～
 「彩雲のかなたへ」著者

田中三也さん(並木7丁目在住)は1939年15歳で海軍霞ヶ浦航空隊に飛行予科練習生として入隊し、以後、敵艦などを探す偵察機の偵察員として戦場を巡りました。1945年1月、フィリピン・ルソン島で零戦三機、彗星(爆撃機)一機の神風特別攻撃隊が組まれ、偵察隊からも一人をとの命令があり、自ら志願し彗星に乗りこむ。しかし、零戦一機が不調で出撃が翌朝に延期になり、その夜の空襲で搭乗予定の「彗星」が炎上し、田中さんの特攻出撃はなくなりました。その後、松山の343空偵察第4飛行隊に転じ、偵察機の彩雲で本土防空戦に参加。最後は鹿児島鹿屋基地で沖縄戦に参加し、終戦を迎える。

戦争体験者が少なくなりつつある現在、「今後なしうることは一つ、亡くなった戦友に変わり、時代に向かって発言し続けること、そして2度と戦争してはいけない」と言う思いで、2014年から、我孫子の香取神社社務所で毎月、「お話し会」を開き、戦争体験を語っています。戦後70年の昨夏には、日比谷公会堂での「あの戦場体験を語り継ぐ集い」にも登壇するなど、若い世代の支援を得て活動の幅を広げていらっしゃいます。



海軍機中最速の高速偵察機「彩雲」



航空服姿の田中さん



自作の海戦図を前に説明する田中さん

※田中さんの戦争体験談のお話し会
 日時：毎月第一日曜日 13時から
 場所：香取神社にて(我孫子南口)
 会費：500円 ＊申し込みが必要です。
 問合せ：秋元佐予さん(090-9371-1889)

※戦時下の、偵察機を乗り継いだ記録を「彩雲のかなたへ」(光人社)として、2009年に出版(2016年2月文庫化)。

✽ 編集閑話 ✽

ごみの問題は各家庭に係る事ながら、わりと人任せに考えられていますか？高齢化する自治会のごみ回収は、今後に向けての行政の計画性と、自治会・各家庭での知恵が必要なようです。平成22年度(震災前)までの我孫子市の資源ごみは一般ごみの内の40%近くだったそうです。放射能の影響で資源化できなくなったごみ(主に樹木・草)を思うとエネルギー廃棄物の問題も他人ごとではありませんね。 ☺ Y.K

発行者：我孫子北まちづくり協議会 広報部会

＊並木本館

〒270-1165 我孫子市並木5-4-6

TEL：7157-4517 FAX：7157-4518

＊つくし野館

〒270-1164 我孫子市つくし野3-22-1

TEL：7157-4085 FAX：7157-4086

URL：http://www1a.biglobe.ne.jp/abikokita_kinrin/